



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)天満橋1丁目計画		
建設地	北区天満橋1丁目		
建築用途	共同住宅		
建築主	関電不動産開発(株)		
設計者	(株)奥村組		
敷地面積	296.54	m ²	
建築面積	201.80	m ²	
延床面積	2,245.60	m ²	
構造/階数	RC造	/	地上13階
完了年(予定)	2021年7月		

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

B-
BEE=0.9

環境品質 G vs 環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 93%
③上記+②以外の 93%
④上記+ 93%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

ラベル表示 有

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア= 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.8

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
汚染物質を発生させないような設計にて室内の空気質環境をよくすることに努めた。また、地球温暖化に配慮した断熱材を使用することで、敷地外の環境についても考慮した。	特になし。	
Q1 室内環境 建築材料にF☆☆☆☆をほぼ全面的に使用するなど、室内の空気を健全に保つことに努めた。	Q2 サービス性能 維持管理用機能を確保することで、長期にわたり建物の機能が維持できるように努めた。	Q3 室外環境(敷地内) 外壁仕上げ等に落ち着いた色合いを採用するなどして、周囲の街並みに溶け込むように配慮した。
LR1 エネルギー LED照明を採用するなど、エネルギー負荷抑制に配慮した。	LR2 資源・マテリアル ODP・GWP共に低い断熱材を使用することで、地球温暖化抑制に配慮した。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率低減に努めた。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 0.9

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.2
配慮事項	LED照明を採用し、ライフサイクルCO2排出率低減に努めた。	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	1.0
Q3 / 3 /3. 2/	敷地内温熱環境の向上	2.0
LR3/ 2 /2. 2/	温熱環境悪化の改善	2.0
配慮事項	特になし。	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	4.0
配慮事項	適度な断熱材を使用し、熱負荷抑制に配慮した。	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	4.6
配慮事項	LEDを使用するなど、エネルギー負荷を抑えるよう配慮した。	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分(品確法等級) 等級4 (相当)	非住宅部分[BPI][BPI _m] -	
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEI _m] 0.87	住宅部分[BEI] 0.87	非住宅部分[BEI][BEI _m] -

